

1 開催日時

平成26年10月3日（金）午後2時30分から

2 開催場所

会議棟第1会議室

3 出席者

委員：鈴木委員長 武石委員 岩田委員 藤宮委員 真如教育長  
事務局：阿部学校教育部長 石井学校教育部参事 小俣社会教育部長  
小坂橋統括指導主事 村上社会教育課長 岩本学校教育課長  
小野指導主事 樺山指導主事 福嶋庶務係長

4 協議項目

- (1) 平成27年度東大和市教育委員会の教育目標・基本方針及び主要施策について
- (2) 東大和市体育施設等に関する条例の一部改正に係る意見の申し出について
- (3) 学力向上に向けての方策について

5 会議の要旨

- (1) 平成27年度東大和市教育委員会の教育目標・基本方針及び主要施策について
  - ①主な説明
    - ・東大和市の教育課題をもとに、東大和市学校教育振興基本計画の施策に基づき改訂を行う。
    - ・今後の改訂の事務スケジュールについて説明した。
  - ②主な意見
    - ・質問についての窓口は、それぞれの担当課または、統括指導主事とする。
    - また、意見については、文書でも口頭でも可能とする。
- (2) 東大和市体育施設等に関する条例の一部改正に係る意見の申し出について
  - ①主な説明
    - ・東大和市体育施設等に関する条例の一部改正の骨子について説明した。指定管理者からの提案により、休場日のうち年末年始の時期に関し1日削減とすること、原則平日の曜日についての開場時間を延長すること。また、桜が丘市民広場の面積が狭くなることに伴い利用料金を減額することや上仲原公園内の芝生部分についての利用希望等があり、当該部分を利用できるように設定する改正である。詳細については、文書課と調整中である。

## ②主な意見

- ・市民にとって好条件になるので良い改正である。
- ・指定管理者制度導入後、利用者も増えている。
- ・平成27年度からの運営団体の考え方は、運動に興味関心がない方、運動をしていない方に向け、スポーツへのアプローチを推進していこうと検討している。
- ・引き継ぎについては、市民が戸惑わないような対応を進める。

## (3) 学力向上に向けての方策について

### ①主な説明

- ・学校では、調査を基に分析し各校取組みを進めている。学校で行っている調査の視点は、学習指導要領による基礎基本の定着をみること、基礎基本と活用を相互に行ったり来たりしながら上へ伸びていくこと、学力を向上するといった考え方である。また、授業でのどう活用させていくかも今後進めていきたい。また、予算の編成の時期、本市の実態を受けながらどういう施策を立案し、学校を支援していくのか、学校教育振興基本計画に5年後の数値目標を掲げているが、単年度どこまで達成させるのか。
- ・「東大和市家庭学習の手引き」を配布しているが、その後の活用ややまとっくん特訓塾の補習教室、当市の子どもたちのテレビの視聴が長いことについてどう改善していくのか等の課題がある。
- ・小中一貫教育も現場から成果が上がってきているといった実感を得ているが、小中一貫教育を使ってどのように学力向上を図るのか課題。中学校グループでの取り組みを始めているが、教育委員会としての方向性を示す必要がある。振興基本計画の数値目標に学校がどれだけ迫っているか、各学校の経営方針の重点課題がすべて網羅されていないが、各学校がどのくらいまで数値目標に迫っているのか実態調査をし、各学校の進捗状況把握していき進めていきたい。

### ②主な内容

- ・学力調査の目標は、子どもたちの実態を把握したうえで、どのような施策を進めるのか、条件整備に努めるのかを導き出すものである。
- ・市の方針としては、限りある財源を最大限活用し、前年踏襲とすることなく見極めをしながら事業を実施する。近年新しい事としては、やまとっくんとっくん塾や特色化補助金の交付を実施している。
- ・読書時間の増、テレビの視聴時間の減についてどう教育委員会としてどう取り組むのか。
- ・各学校の校長先生も頑張っているので、指導室としても知恵を出し、全校を挙げて取り組むことを示していきたい。
- ・学校には、支援室があるので活用してほしい。
- ・自分の学校だけでなく、他校と比較することも大切である。
- ・課題を見つけることも大切である。
- ・良い成果が出ている学校は、行事等に対するモラルも高い。また、より良い成果のデータを他の学校に示していく。
- ・幼保と学校との関係については、すでに検討していてありがたい。

- ・生活面では、テレビ、インターネット、寝る時間、起きる時間が定まっている子どもは学力が高い。
- ・授業面では、目的をもってその日の授業を受けている子の学力が高い。また、教師が目的を示している学校の学力が高い。疑問などがあった場合にすぐに先生や友だちに聞ける学校は学力が高い。
- ・言語活動の面から、自分の考えをもって友達と話したり、その考えを広めたり、深めたりすることが大切である。先生の指導力については、研修を通じて高めていきたい。
- ・学校は人の集まりであり、人間関係が大切であり、良い関係を築くことが学力向上につながる。
- ・子どもたちは、学区を選ぶことができないので、ぜひ東大和市全体が底上げされるように頑張って事業を進めてほしい。
- ・学校に関心を持ってもらうことが大切である。良いことを考えていても発信しなければ、知らせなければ広がらない。
- ・成果を上げている校長は、誰に対しても上手に対応しているし、相手に対して警戒心を持たせない。